

2021/6/15

☀️ おひさまの会より

おすすめ本の紹介



6月のテーマ

～いろいろな世界を
たの
楽しもう～



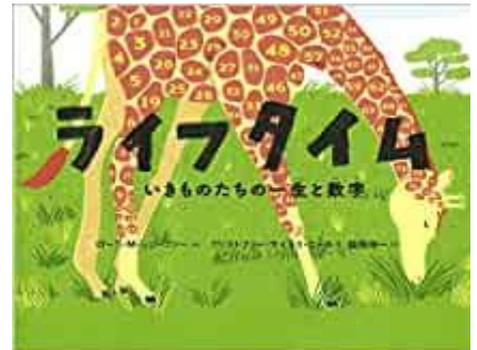
『ライフタイム いきものたちの一生と数字』

ぶん：ローラ・M・シェーファー

え：クリストファー・サイラス・ニール

やく：福岡 伸一

ポプラせかいの絵本



クモは一生のあいだに1つだけたまごのふくろを作ります。

カンガルーのメスは一生のあいだに50ぴきの赤ちゃんを生まみます。50ぴきもです！

バンドウイルカは一生のあいだ、ずっと同じ100本の歯でえさの魚をつかまえます。

キリンのあみめもようってたくさんありますが、200こもあるってしてましたか？

私たちの知らない、いきものたちの一生にかくされた、おどろきの数の世界が

みえてくる1冊です。最後に出てくる、タツノオトシゴのオスが育てる

赤ちゃんの数にはビックリですよ！

(オレンジさん)

『はなのあなのはなし』

さく：やぎゅう げんいちろう

福音館書店



人によって大きさや形が色々ある鼻の穴。ほとんどの動物には

鼻の穴が二つある。鼻の穴の大事な役目から、鼻くそ、鼻血についてまで

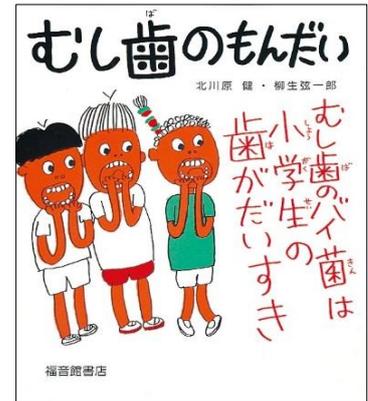
おもしろく書いてあるよ。思わずみんなの鼻の穴を見たくなる。(なるなるさん)

ば
『むし歯のもんだい』

ぶん きたがわら けん
文：北川原 健

え やぎゅう げんいちろう
絵：柳生 弦一郎

ふくいんかんしょてん
福音館書店



むし歯はミュータンスという細菌によるものだけど、

どうしてむし歯になるのかな。むし歯になったらどうしたらいいのかな。

歯と骨ってどうちがうのかな、など歯と身体についてこの絵本を見ながら

かんが
考えてみてね。

(なるなるさん)

うし
『牛はどこでもモ〜！』

さく
作：エレン・スラスキー・ワインスティーン

え
絵：ケネス・アンダーソン

やく かつら し
訳：桂 かい枝

すずき しゅっぱん
鈴木出版



みんなは知っていますか？ 犬はなんて鳴くのか。

でも、イギリスでは、犬の鳴き声は「バウワウ！」。同じ動物の鳴き声を聞いても

くに ぎ かつら ちが
国によって、聞こえ方が違うんだって。

ニワトリやカエル、アヒルのそれぞれの国での鳴き声を 楽しく勉強してみましよう。

うし
そして、牛はやっぱり・・・!?

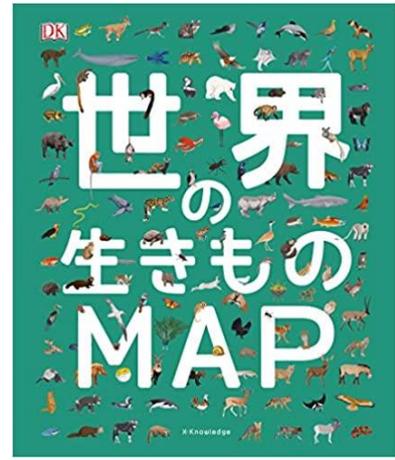
(takaさん)



せかい い マップ
『世界の生きものMAP』

やく
訳：きた なおこ

エクスナレッジ



せかい かんきょう えが ちず つ
世界のさまざまな環境を描いた地図付き。

とち とくちょう く い か たと きた
土地の特徴やそこで暮らす生きものたちについて書かれているよ。例えば、北アメリカの

せいぶ さばく さばく しょくぶつ
西部の砂漠には サバクゴファーガメというカメが砂漠の植物をたべてるんだって。

ほん で どうぶつ しぜんかんきょう ちいき かん
本に出てくる「動物」「自然環境」「地域」に関するクイズもあります。

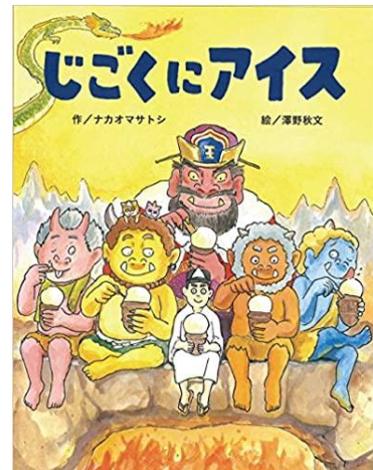
(なるなるさん)

『じごくにアイス』

さく
作：ナカオ マサトシ

え さわの あきふみ
絵：澤野 秋文

ひさかたチャイルド



ひ おい ひょうばん や あし すべ
ある日、美味しいと評判なアイス屋さんのこたろうは足を滑らせてすってんころりん。

き み かわぎし おに き さま
気がつくと、見たこともない川岸に。そこへ鬼のふねがやって来て、えんま様のいる

さば ま つ い
裁きの間へ連れて行かれます。

さば ま つ さま おおあわ さば
ところが裁きの間に着くとえんま様は大慌て。裁きどころではありません。

じごく なに お さわ ま こ
さて、地獄では何が起きているのでしょうか？その騒ぎに巻き込まれたこたろうは？？

さいご こと じごく つく げい み たす
最後にひよんな事から、こたろうは地獄でアイスを作ることに。芸は身を助ける！？

は けつまつ
果たして結末はいかに・・・。

こせい ゆた おに あいきょう え み たの え ほん
個性豊かな鬼たちや愛嬌ある絵をすみずみまで見ているだけでも楽しい絵本！

みな よ せかい かん ぞんぶん あじ
皆さんもあの世の世界観を存分に味わってみてくださいね。

(chocoさん)

『おかしなずかん』

さく おおもり ひろこ
作：大森 裕子

かんしゅう ふくだ じゅんこ
監修：福田 淳子

はくせんしゃ
白泉社



「いらっしゃいませ！うさぎスイーツへ ようこそ。」

この絵本の帯には「ほんものよりも、おいしそう!？」と書いてあります。お菓子の写真でなく 絵なのですが細かい所まで書かれているので、とてもおいしそうです。

お菓子の名前の横に国旗が入っていて、どこの国のお菓子なのか、わかりやすくなっています。 なんだか、癒されてしまいます。 (ミントアイスさん)

『みえるとかみえないとか』

さく：ヨシタケ シンスケ

そうだん：伊藤 亜紗

アリス館



「みえるとかみえないとか」は、

「目の見えない人は世界をどう見ているのか」 (伊藤亜紗・著、光文社)

という本をきっかけに、ヨシタケシンスケさんが伊藤さんに相談しながら作った絵本です。

目が見えるって「ふつう?」、目が見えないって「とくべつ?」「自分と違う人とても、

お互いの工夫や失敗や発見を教えあったらきっとみんな「へー!」ってなる」

「同じところを探しながら違うところをお互いにおもしろがればいいんだね」

色々な人がいる社会の中で、お互いの存在を認め合いながら生活していくための

大事な考え方が、この絵本に提示されています。

(あんずさん)

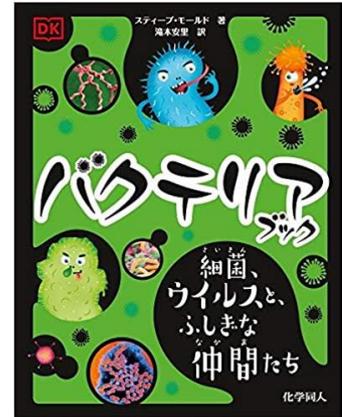
『バクテリアブック』

さいきん なかま
細菌、ウイルスと、ふしぎな仲間たち』

ちよ
著：スティーブ・モールド

やく たきもと あんり
訳：滝本 安里

かがく どうじん
化学同人



さいきん おくねんじょう むかし ちきゅうじょう あらわ にんげん むかし
細菌は36億年以上も昔に地球上に現れたんだって。人間よりもずっとずっと昔。

ほん きも わる い もの とうじょう ほんとう
この本には気持ち悪くて ぞっとする生き物が登場するし、本当に素晴らしい
い もの で
生き物も出てくる。

ちよしゃ し ちい ちい さいきん せかい みりよく まじ
著者のスティーブ・モールド氏が小さな小さな細菌の世界の魅力をイラストを交えて
おし
教えてくれる。 (なるなるさん)

『ちいさな ちいさな』

めに みえない びせいぶつの せかい』

ぶん
文：ニコラ・デイビス

え
絵：エミリー・サットン

やく おち のりこ
訳：越智 典子

かんしゅう だがわ ようすけ
監修：出川 洋介

しょぼう
ゴブリン書房



め み ちい い もの め あたま あし ね は
目に見えないほど小さい生き物。目も頭も足も、根っこや葉っぱもなく、

どうぶつ しょくぶつ い
動物でも植物でもないけど生きている。それは びせいぶつ。

つち なか おく わたし
スプーンいっぱいの土の中には10億ものびせいぶつがいるし、私たちのひふや

なか そうぞう
おなかの中にも想像できないくらいたくさんびせいぶつがいるらしい。

かたち ふ しごと
びせいぶつってどんな形？どうやってそんなにたくさん増えるの？どんな仕事を

かぜ
しているの？風邪やインフルエンザやコロナにかかるのもびせいぶつのせい！？

わる やく
悪いびせいぶつもいれば、とっても役にたってるびせいぶつもあります。みなさんも、

せかい
びせいぶつの世界を ぜひのぞいてみてください。 (オレンジさん)

『はたらく細胞 01～06巻』

著：清水 茜

講談社



このお話はどこの世界??…実は、私達 人間の体の中の世界!!

37,000,000,000,000個 (37兆個) の細胞たちが元気に私達の体の中を動き回って

色々なお仕事をしてくれています。

イケメン白血球は 色々な敵と戦い、可愛い血小板ちゃんは 道路工事??

病気に掛かったり怪我をした時に、体の中ではどんな事が起こっているのか、

体の中の世界をのぞいてみよう!

(ekさん)

『はたらく細胞 人体のふしぎ図鑑』

編：講談社

監修：シリウス編集部/はたらく細胞製作委員会

講談社



生き物の体は「細胞」という小さなふくろのようなものが集まってできています。

細胞は顕微鏡を使わないと見えないぐらい小さくて、人間ひとりあたり約37兆個、

種類にすると約260～270もあると言われています。

息をして吸い込んだ酸素を肺で受け取り体のすみずみに届け、体中をめぐる集めた

二酸化炭素を肺に届けている赤血球。体に入ってきた細菌やウイルスなどの

敵と戦う白血球。

この本では、細胞の種類や特徴、役割を、それぞれの細胞のキャラクターたちが

わかりやすく説明してくれています。私たちの体をささえてくれている

「はたらく細胞」の世界にふれることの出来る一冊です。

(ミントアイスさん)